

「生き物供養碑調査」の方法

1. 調査対象・調査票による報告対象

- ・「生き物供養」関わると思われる碑、塔、塚など、全てを調査の対象にして下さい
- ・供養碑かどうか不明の場合でも、「疑わしきは記す」つもりで報告下さい
- ・対象の現地調査が困難な場合、「たしかあの辺に何かあった・・・」という情報だけの報告でも結構です（後日、周辺在住のレポーターの方に調査を依頼します）
- ・ヒトのみが対象の供養碑などは、調査の対象から外してください
- ・既に文献等で公表されている碑であっても、ご自身で確認したものは全て報告下さい

2. 報告の仕方

- ・調査結果を、「生き物供養碑調査票」に記載し報告下さい
- ・調査票は下記の何れかで琵琶湖博物館フィールドレポーターまで提出下さい
 - ①琵琶湖博物館ホームページの「生き物供養碑調査票」に直接入力して回答
琵琶湖博物館HP⇒活動に参加⇒フィールドレポーター⇒生き物供養碑調査票
エクセル、ワード、PDFの何れかに入力しfreporter@biwahaku.jp宛メール送信
一度に送付するファイル容量は3メガ以内。3メガ以上の場合は分割して送信
 - ②上記①で入力した調査票を印刷して、同封の返却用封筒にて郵送
 - ③同封の「調査票」に記載して、同封の返却用封筒にて郵送
 - ④同封の「調査票」に記載して、PDFにしてfreporter@biwahaku.jp宛メール送信

3. 調査票記載に当たってのお願い

- ① 調査票は、添付資料3の「調査票記載要領」を参考に記入下さい
- ② 回答が不明の項目は、「不明」の欄に「レ」（チェック）を入れて下さい
- ③ 碑の形状と碑銘等が判別できる写真を撮影し添付下さい（可能な範囲で結構です）
添付写真・電子ファイルには、調査票記載の「調査者。調査番号」を明示下さい
- ④ 調査票裏面を活用しても記入、添付欄が不足の場合は、ページを適宜追加下さい

4. ひかり拓本について

- ・「ひかり拓本」を試みたい場合はfreporter@biwahaku.jp宛メールで連絡下さい
- ・11月17日（日）の「びわ博フェス」のフィールドレポーター・ワークショップにて、ひかり拓本を実地で体験できます。（小学生以上、先着順50名まで）

5. 調査期間 ： 2024年10月～2025年1月30日

要注意!! 調査に際して、お守りいただきたい事項

- ① 「敷地内への立入、場所・写真の公開」について、関係者の許可を必ず得て下さい
 - ・琵琶湖博物館フィールドレポーターの調査である旨をお伝えし、協力をお願いする
 - ・許可が得られない場合は、調査対象から外していただいて結構です
- ② 碑等が崖、高所等の危険と思われる場所にある場合は、絶対に近づかないで下さい
 - ・調査票は解る範囲の記載で結構です（遠方からの写真だけでもOKです）

問合せ先など

- ・不明な点などは、琵琶湖博物館環境学習・交流係 川瀬成吾宛、問合せ下さい

TEL：077-568-4811（博物館） / E-mail：freporter@biwahaku.jp

以上

【調査方法添付資料1】調査に当たっての参考情報

- ・滋賀県内にある供養碑が紹介されている主な文献、書籍等を紹介します。インターネットで内容を確認できますので、これらの情報を調査開始の取っ掛かりとして活用下さい。
- ・これら文献等に掲載された供養碑であっても、皆様ご自身で確認調査いただいた場合は、調査結果として調査票に記入、提出下さい。
- ・他方、これら文献等に掲載された供養碑が現存しない場合もありますが、その場合も調査対象として挙げて頂き、調査票には「現存しない」旨を明記の上で、提出下さい。

1. 参考文献、参考書籍など

1) 生き物供養碑 topic map

<http://tmap1.topicmaps-space.jp>

国文学研究資料館, 相田 満 研究室

全国2216基の塚（碑）を掲載

【調査方法添付資料2】として滋賀県のデータ部分を切出し、纏めています

2) 魚類の供養に関する研究

田口理恵、関いずみ、加藤登

東海大学海洋研究所研究報告 第32号 (2011年)

3) 魚のとむらい - 供養塚から読み解く人と魚のものがたり -

編著：田口理恵

発行：東海大学出版会（発行：2012.4.1）

4) いきものをとむらう歴史 - 供養・慰霊の動物塚を巡る -

著：依田賢太郎

発行：社会評論社発（第一刷：2018.7.20）

2. 調査事例

1) 小鮎塚・・・・・・米原市上丹生

- ・「【調査方法添付資料2】の23番」に記載され事例
- ・滋賀県醒井養鱒場内にある供養塚（石碑）
- ・鮎の養殖や放流の起源となった説明、及び実験中に死んだアユを追悼する目的で建立
- ・碑文は滋賀県醒井養鱒場ホームページ/場内施設/歌碑・塚のページで確認できます

2) 百足供養堂・・・・・・大津市瀬田2丁目

- ・「【調査方法添付資料5】調査票（記載）事例」として添付した事例
- ・瀬田唐橋東詰めの雲住寺境内にある供養堂
- ・俵藤太のむかで退治に関する寺保有の古文書の解読を契機に供養堂を建立
- ・供養堂のすぐ脇に”虫塚”もある。＜虫塚は、別な調査対象碑＞

3) 清露戦役牛馬碑・・・・東近江市河合町

- ・「【調査方法添付資料2】の35番」に記載された事例
- ・願成寺の境内にある石碑
- ・戦役として徴用された農耕牛馬の供養のため建立
- ・「【調査方法添付資料2】の44番」として、同じ願成寺に”人魚のミイラ（塚）”の記載があるが、供養碑や塚は無く、”人魚のミイラ”（非公開）自体を保有とのこと

以上

【調査方法添付資料2】

生き物供養碑 topic map（滋賀県46件）

碑名・供養対象		緯度(十進法)	経度(十進法)	所在地	祀りの場など	その他	建立年		引用文献
1	(金毘羅詣で)	35.415097	136.244255	長浜市 新旭町108	？ 虎姫漁協	金毘羅もうで			
2	魚籃観音(塚)	35.476049	136.239052	長浜市 高月町渡岸寺	向源寺(渡岸寺)				
3	魚籃観音(塚)	35.507977	136.251926	長浜市 木之本町古橋	戸岩寺	製作年代は平安時代の十世紀前半頃と考えられる			
4	(魚供養)(塚)	35.247989	135.866895	大津市 葛川坊村町237-37	葛川漁業協同組合	以前は魚供養を行っていた			
5	お地蔵さん(塚)	34.974604	135.908282	大津市 瀬田1-21-19	瀬田町漁協	「お地蔵さま」1955年建立、昭和30年頃。蜆供養を3月、11月に。		シジミ	
6	(魚供養)(塚)	35.166231	135.923796	大津市 和邇中浜官有地	志賀町漁協	8月に魚供養を行う			
7	湖魚供養塔(塚)	35.127543	135.918260	大津市 真野2丁目24-1	(株)鮎屋	平成元年(1989)1月に琵琶湖産魚の供養のために建立		アユ	
8	湖鮎供養塔(塚)	35.129754	135.981302	野洲市 吉川4187	(株)鮎屋 鮎屋の郷	「湖鮎供養塔」、平成6年に社屋移設をきっかけに外庭に建立した。供養塔法要を行っている。		アユ	
9	魚おみ碑(塚)	35.200258	136.056055	近江八幡市 沖島町43	沖島漁港	「魚おみ碑」。9月に漁港内で供養法要。12月にはお寺で魚貝類の供養。		魚類	
10	魚貝類供養塔(塚)	35.200258	136.056055	近江八幡市 沖島町43	沖島漁港	「魚貝類供養塔」。9月に漁港内で供養法要。12月にはお寺で魚貝類の供養。		魚貝類	
11	(魚供養)(塚)	35.053893	135.924182	草津市志那町1436-2	志那漁協	8月に供養祭		魚類	
12	(魚族供養)(塚)	34.935931	136.348915	甲賀市 土山町黒滝466	土山漁業協同組合	10月に瑞雲禅寺にて、黒滝区の関係者が集まり、魚族の供養を行っている。		魚類	
13	(魚供養)(塚)	34.998697	136.096809	湖南市 夏見618-5	野洲川漁業協同組合	アユ漁のシーズンオフとなる10月以降に、魚供養を行う。はじめは川原にお寺さんと呼んで、鮎供養をしていたが、天候の問題や他の魚の供養もしなくてはと考えて、お寺の池に魚を放して魚供養をするようになった。		アユ	
14	いわなの里 顕彰碑	35.093902	136.378634	東近江市 杠葉尾町	(株)池田養魚場	愛知川上流漁業組合の須谷川釣り場(特別放流区)に、「イワナの里 顕彰碑」と昭和50年建立の観音様が、養魚場の高台にある。初代場長の池田氏がイワナの養殖に国内で初めて成功したことを顕彰する碑で、池田氏没後に、溪流会(有志一同)が中心になり、観音像の横に建てた。7月中旬に光林寺の住職を呼んでイワナ供養を行っている。約40年前は、創業者が地域の関係者も呼んで魚供養と祭事を行っていたが、現在は養魚場関係者のみで行っている。	1998年	イワナ	
15	鶴塚(塚)	35.327127	136.015374	高島市 安曇川町三尾里	—	石宝塔。鶴の番の絆にまつわる伝説がある。	1190～1300年	ツル	依田2007
16	(漁供養)(塚)	35.403865	136.032286	高島市 今津町今津95	今津漁協	10月頃に漁供養		魚類	
17	(供養祭)(塚)	35.409532	136.043487	高島市 今津町浜分293	浜分漁協	2月はじめにお寺で供養		魚類	
18	(ナマズ祭)(塚)	35.351046	136.052670	高島市 新旭町藁園	藁園神社	約350年前に、農作物をあらず害虫を、ナマズの大群が押し寄せて食べつくしたという。明治初期に途絶えたが、同神社建設600年祭が行われた1997年にナマズ祭りが復活した。		ナマズ	
19	魚霊供養碑(塚)	35.116960	136.183047	東近江市 小脇町太郎坊阿賀神社前	成願寺			魚類	
20	見塔寺(塚)	35.296493	136.177940	彦根市 八坂町	多景島	明暦元年(1655年)に建てられた日蓮宗の見塔寺の寺伝によると、琵琶湖に沈んだ人々と魚介類の供養のために、慈雲院日靖上人が開山。日靖上人は越前の国大野の出身で、長浜の妙法寺修行中の明暦元年夢のお告げでこの島に渡った。	1655年	魚類	
21	(虫供養)(塚)	35.283681	136.248697	彦根市 松原2の無番地	彦根市松原漁協	漁協会館にて、蜆のために「虫供養」をしている。		シジミ	
22	石碑(塚)	35.006202	136.262441	日野町	日野川ダム公園	昭和42年に日野川ダム竣工後、ダム公園が設けられ、そこに弁天様の社と石碑が建てられている。	1967年	魚類	
23	小鮎塚(塚)	35.299083	136.338861	米原市上丹生	滋賀県水産試験場 醒井養鱒場	琵琶湖産小鮎は大正末期より淡水養魚界に登場。滋賀県当局の指導で採捕畜養輸送の施設を完備し、全国河川に移植された。その産額は500万円を上回り、鮎の功德をたたえ小鮎塚を建立。移植放流事業の開始より今日までに犠牲となった小鮎3億尾の慰霊と、小鮎族の繁栄、わが国の水産資源の開発に貢献することを祈願して建てた。	1940年	アユ	三浦2010
24	かえるの碑(塚)	35.300139	136.343056	米原市上丹生	滋賀県水産試験場 醒井養鱒場	農業の副業のために食用蛙の養殖で、大正9年にメス5匹、オス4匹を導入。養殖をはじめ、繁殖を成功させ、輸出も可能になった。	1935年	カエル	
25	(供養祭)(塚)	35.298542	136.339688	米原市 上丹生1517	養鱒センター きたがわ	4月10日に鱒供養		マス	
26	(供養祭)(塚)	35.327101	136.346673	米原市 醒井606	松尾寺	9月18日に千日会(英霊・鳥獣・鱒供養)		マス・鳥	

27	金毘羅宮(塚)	35.106147	135.940447	守山市 木浜中島2297-1	守山漁協	「金毘羅宮」、昭和45年大漁祈願と海上安全のため建立。1月と8月に魚霊祭。	1970年		
28	犬塚(塚)	35.006145	135.860316	大津市 逢坂2丁目9	—	自然石。京都から大津へ難を逃れてやってきた蓮如上人が、上人の人気をこころよく思わなかった他宗の門徒によって毒殺されようとした時に、忠犬が身代わりとなって死んだので、この犬を埋めた塚に、櫟(けやき)を植えて吊ったという話で、その櫟といわれる老大樹が石碑と共に今もある。		イヌ	依田2007
29	牛塔(塚)	35.004533	135.859766	大津市 逢坂2丁目3-23	長安寺	石宝塔。一般に関寺の牛塔と呼ばれる霊牛の供養塔		ウシ	依田2007
30	牛桜 聖武天皇の牛桜(塚)	34.901076	136.079063	甲賀市 信楽町牧		土塚。聖武天皇の御車を牽いていた牛の墓標として山桜を植えたもの。現在は牧の牛轡陶器工房の敷地内、旧道脇にある。	724～749年	ウシ	依田2007
31	馬塚(塚)	35.353076	136.035805	高島市 新旭町一ノ坪	—	自然石。農耕や荷役に使用した馬が死んだときに葬った十坪ほどの塚。現在は放置されている。		ウマ	依田2007
32	蟲救護碑(塚)	35.007292	136.247828	日野町 小井口867	松林寺	明治30年6月建立の蚕供養の碑	1897年	カイコ	依田2007
33	蟹塚(塚)	34.923845	136.304305	甲賀市 土山町南土山蟹が坂		鈴鹿の山に住みつき旅人や村人を苦しめていた大蟹が退治され、その甲羅を葬ったものであるとされる。		カニ	依田2007
34	狐塚(塚)	35.048321	135.973039	守山市 古高町	—	円墳形、六畝ほどの土塚。本来は土地の有力者の墓だったと考えられるが、やがて狐が住みつき通称「きつね山」と呼ばれるようになった。稻荷を祀る神社の祭りの際には供物が供えられた。		キツネ	依田2007
35	清露戦役牛馬碑(塚)	35.075140	136.174786	東近江市 川合町950	願成寺	日清、日露戦役に従軍した牛馬の供養碑	1906年	牛馬	依田2007
36	戦没軍馬犬軍鳩霊之碑(塚)	35.275089	136.256293	彦根市 尾末町	護国神社	昭和61年10月1日建立の、太平洋戦争で犠牲になった動物の慰霊碑	1986年	軍用動物	依田2007
37	研究動物慰霊碑(塚)	34.974226	135.951358	大津市 瀬田月輪町	滋賀医科大	昭和53年2月	1978年	実験動物	依田2007
38	鳥獣供養塔	34.944424	135.891576	大津市 千町	—	上千町バス停付近	1957年	動物	依田2007
39	ペットピア真野(塚)	35.134352	135.920727	大津市 真野6丁目13-54	昌法寺			ペット	依田2007
40	野生鳥獣供養塔	35.069064	136.049280	野洲市 辻町	—	昭和55年1月に狩猟の対象になった鳥獣の供養碑であり、猟友会などが中心になって建立した。滋賀県猟友会及びその各支部はそれぞれ神社または寺院で慰霊祭、供養などを行っている。	1980年	鳥獣	依田2007
41	人魚のミイラ(塚)	35.144898	136.161461	近江八幡市安土町石寺2丁目	観音正寺	永年にわたり「人魚のミイラ」が祀られてきた。平成5年5月22日、本堂の火災でミイラも焼失した。		人魚	田辺2008
42	人魚塚(塚)	35.029856	136.284435	日野町 小野	鬼室集斯神社	鬼室神社の本殿の裏に祀られている八角形の「鬼室集斯墓碑」と伝えられている石柱(石造の塔婆に石幢と呼ばれるものが笠の石下に幢身(塔身)があるので八角柱塔身ともいえる形状)の「人魚塚(碑)」。		人魚	田辺2008
43	人魚塚(救世菩薩墳)(塚)	35.027220	136.291076	日野町 小野		蒲生川に出没した災いを成す人魚を小野村で退治し、この石柱(人魚塚)の下に葬り、その土地を久世傍(救世傍)と名づけた。そのようなことから天満宮を近くに祀った。昔ここを通る人が小石を投げる風習があった。		人魚	田辺2008
44	人魚のミイラ(塚)	35.036111	136.260080	東近江市 川合町950	願成寺	3兄弟のミイラのうちの1体、非公開。＜改行＞他の2体は蒲生川をさかのぼった日野町小野で捕まり、一体は和歌山県橋本市の刈萱堂(かるかやど)にミイラとなり伝わってくる。これらの他に伝わるミイラの多くは、大きく開けた口から牙のような歯をのぞかせ、何かを叫ぶような恐ろしい姿。橋本市のミイラは見ると若返るとされ、人魚の肉を食べた尼が若い姿のまま何百年も生きたという若狭地方の八百比丘尼(やおびくに)伝説と似ている。		人魚のミイラ	田辺2008 京都新聞「ふるさと昔語り」
45	人魚碑(塚)	35.057699	136.201395	東近江市 蒲生寺町	人魚園	公園「人魚園」にある伝説を記した碑		人魚	京都新聞「ふるさと昔語り」
46	人魚像(塚)	35.057699	136.201395	東近江市 蒲生寺町	人魚園	公園「人魚園」にある人魚の像		人魚	京都新聞「ふるさと昔語り」

この資料は、「生き物供養碑 topic map」 <http://tmap1.topicmaps-space.jp/kuyo/> で公開されているデータを基に、一覧表にまとめたものです。

【調査方法添付資料3】調査票記入要領、記入例

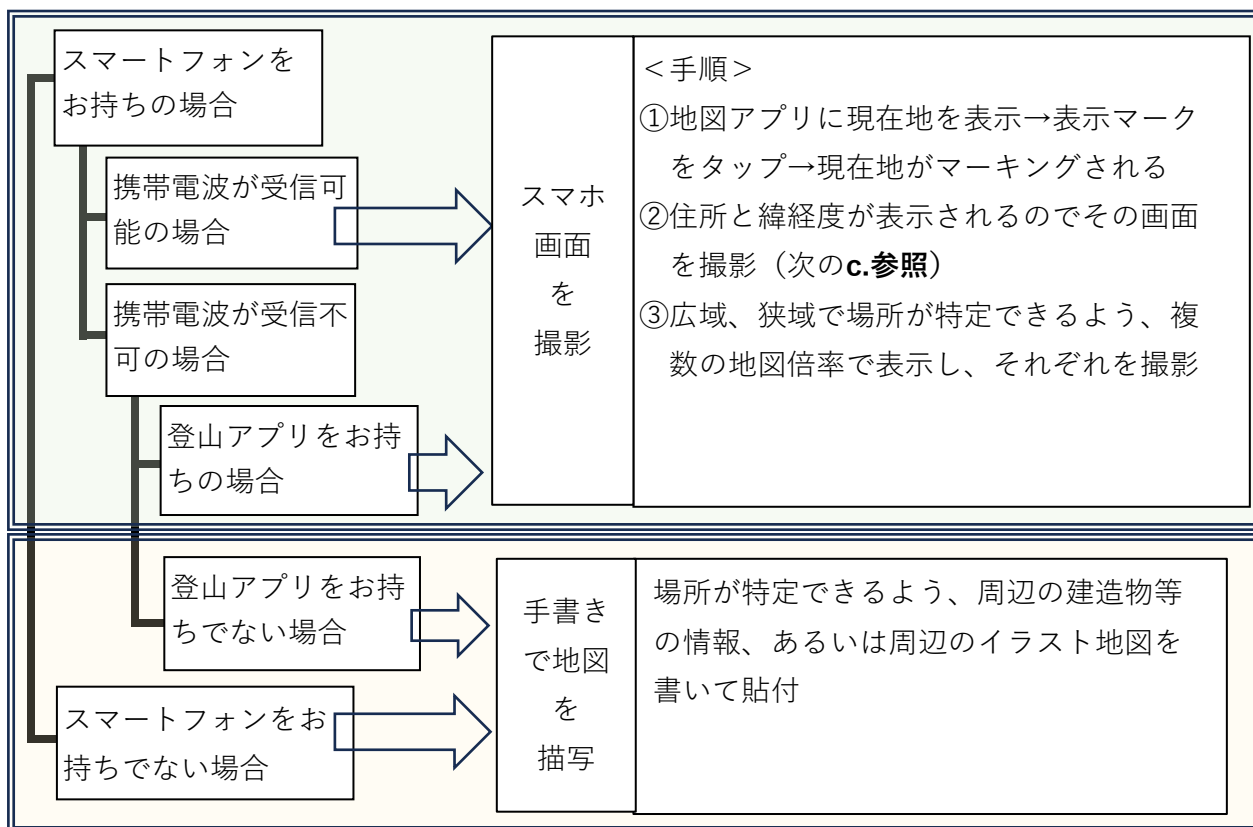
生き物供養碑調査票（表面）

調査者（ 氏名記入 ） / 調査票整理番号（ 連番 ） 、 調査日：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

項目	記載要領	不明								
1.碑名もしくは呼称	〇〇の碑、〇〇記念など。解らなければカッコ付で命名も可	不明 の 場 合 は 不 明 欄 に レ 点								
2.所在地：住所	・ 碑の所在地（住所）を記載下さい ・ 住所が不明の場合、緯経度が解れば記載下さい ・ 場所の特定方法、緯経度確認方法は【添付資料4】を参照									
所在地：地図（位置情報） ＜可能な限り添付＞	・ 裏面にスマホアプリ地図、コンパスアプリの画像を添付 ＜画像撮影方法は【添付資料4】を参照下さい＞ ・ 画像添付が出来ない場合、周辺を含めた手書き地図を添付									
3.碑のある場所	社寺名、施設名（（株）鮎屋、滋賀医大、沖島漁港など）									
4.碑の形状など	柱状、板状、塔、像、塚、祠など、形状を記載下さい									
碑の材質など	石、金属、木、コンクリートなど、碑の材質を記載下さい									
5.碑の高さ（cm）	メジャーがあれば計測（「凡そ〇〇cm」でも結構です）									
碑の幅（cm）	メジャーがあれば計測（「凡そ〇〇cm」でも結構です）									
6.供養の対象	下記記載例を参考に記入下さい <table><thead><tr><th colspan="2">記 載 例</th></tr></thead><tbody><tr><td>複合的に捉えたもの</td><td>「魚鳥獣」「動物」「ペット」など</td></tr><tr><td>包括的に捉えたもの</td><td>魚、淡水魚、鳥、虫、魚鱗など</td></tr><tr><td>個別の種に絞ったもの</td><td>ウマ、ウシ、サル、アユ、カイコ など</td></tr></tbody></table>		記 載 例		複合的に捉えたもの	「魚鳥獣」「動物」「ペット」など	包括的に捉えたもの	魚、淡水魚、鳥、虫、魚鱗など	個別の種に絞ったもの	ウマ、ウシ、サル、アユ、カイコ など
記 載 例										
複合的に捉えたもの	「魚鳥獣」「動物」「ペット」など									
包括的に捉えたもの	魚、淡水魚、鳥、虫、魚鱗など									
個別の種に絞ったもの	ウマ、ウシ、サル、アユ、カイコ など									
7.供養碑建立者	建立した法人名、建立名義人（組合長、知事など）									
8.供養碑建立年（月日） 碑記載（ ）有、（ ）無	碑に記載があるかどうか、項目欄（ ）にレ点で記入下さい									
9.供養碑建立の目的など <table><tbody><tr><td>（ ） 碑文に記載</td></tr><tr><td>（ ） 聞き取りから</td></tr><tr><td>（ ） 推測から</td></tr><tr><td>（ ） 碑等の説明案内板</td></tr><tr><td>（ ） 文献資料調査から</td></tr></tbody></table>	（ ） 碑文に記載		（ ） 聞き取りから	（ ） 推測から	（ ） 碑等の説明案内板	（ ） 文献資料調査から	・ 供養碑建立の趣旨、目的などを記載下さい ・ 記載スペースが不足の場合は、「調査票」裏面に追記 ・ それは何から得た情報か、項目欄（ ）にレ点で記入下さい			
（ ） 碑文に記載										
（ ） 聞き取りから										
（ ） 推測から										
（ ） 碑等の説明案内板										
（ ） 文献資料調査から										
10.供養祭等の行事 開催の時期・月日等 行事の主催者名	祭りなど供養行事の「有無」を記載下さい									
11.建立資金の調達	負担者、調達手段等を解れば記載									
12.供養碑の写真 由来等の説明板の有無 （ ）有り、（ ）無し	・ 裏面、説明文面、碑周辺写真なども、適宜、添付下さい ・ 写真は、電子ファイルとして調査票に添付頂くか、またはプリントして調査票裏面に貼付して送付下さい ・ 供養碑建立の由来などの説明板の有無を、項目欄（ ）にレ点で記入下さい									
自由記述欄	・ 写真貼付や各項目の補足等に活用下さい									

【調査方法添付資料4】 所在場所の特定、スマホ画像撮影方法についての参考例

a. 供養碑等所在場所を地図で特定する方法の例



b. 供養碑所在場所の緯度経度を特定する方法例（GPS機能の活用）

携帯電波が届かない場所でも、設定で「位置情報サービス」をオンにすればGPS機能を利用したアプリ（コンパスなど）で緯度・経度が表示される

c. スマートフォンの画面を撮影する方法（スクリーンショットを撮る方法の例）

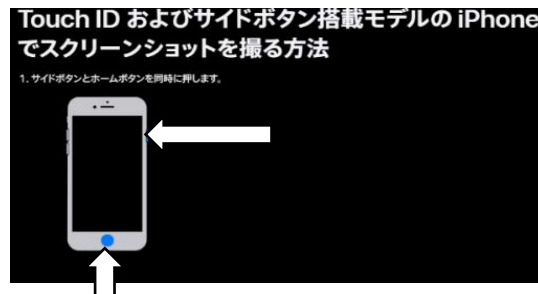
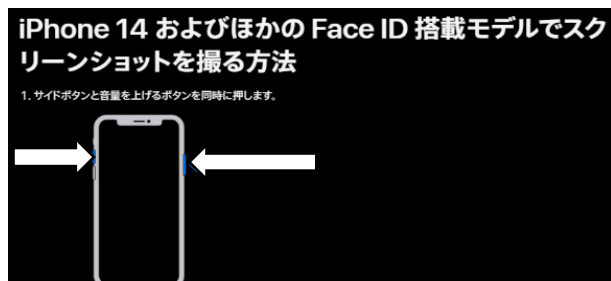
iPhone で画面の画像（スクリーンショット）を撮る方法

①iPhone14およびほかのFace ID搭載モデルの場合

サイドボタンと音量を上げるボタンを同時に押す→ライブラリーに保存される

②Touch IDおよびサイドボタン搭載モデルの場合

サイドボタンとホームボタンを同時に押す→ライブラリーに保存される



Android デバイスで画面の画像（スクリーンショット）を撮る方法

電源ボタンと音量小ボタンを同時に長押しする→ライブラリーに保存される
（参考：「スクリーンショット」ボタンがある機種もあります）

【調査方法添付資料5】調査票事例（表面の記載事例）

生き物供養碑調査票

調査者（ 大河原秀康 ）/調査票整理番号（ 01 ）/調査日：2024年08月30日

項 目	記 入 欄	不明
1.碑名もしくは呼称	百足供養堂	
2.所在地：住所	大津市瀬田2丁目1-8	
所在地地図（位置情報） ＜可能な限り添付＞	裏面にスマホ地図を貼付	—
3.碑のある場所	龍光山雲住寺境内	—
4.碑の形状など	八角の縦格子堂。中心に径17cm程の逗子。中に百足の像。	—
碑の材質など	木製の堂	
5.碑の高さ（cm）	堂本体：約100cm。コンクリート台座：約100cm	
碑の幅（cm）	直径約70cmの八角堂	
6.供養の対象	百足	
7.供養碑建立者	雲住寺第二十五世（住職）行誉泰雄（井野泰雄）	
8.供養碑建立年（月日）	平成六年十月吉日	
記載（レ）有（ ）無	堂横の四角柱の裏面に記載	
9.供養碑建立の目的など 情報は何かから得たか （ ）碑文に記載 （ ）碑等の説明案内板 （レ）聞き取りから （ ）文献資料調査から （ ）推測から	・ 俵藤太のむかで退治に関する寺保有の古文書の解読が出来たことを契機に、住職の発案で供養堂を建立 ・ 都を襲う「悪者」の代名詞としての百足ではあるが、同じ命あるものには変わりなく、供養することとした ・ 百足が子供たちのいじめの対象にならない事も願った (井野住職のお話)	
10.供養祭などの行事	百足供養祭りを、お堂建立の年(H6)～H18年まで実施	
開催時期・月日等	毎年10月14日（雲住寺の建立月日）に供養のみ、今も実施	
行事の主催者名	雲住寺と檀家衆で運営していた	
11.建立資金の調達		レ
12.供養碑の写真 由来等の説明板の有無 （ ）有、（レ）無	裏面に貼付 電子ファイルの添付有り	—

＜各項の補足など自由追記欄。「確かあの辺りに何かあった」と言う情報だけでもOKです＞

- ・ 関連書籍；「俵藤太のむかで退治（俵藤太略縁起）」（井野泰雄著、1994年）
雲住寺所有の古文書を元大津歴史博物館長木村至宏氏に解読頂いた資料をベース
- ・ 祭りは寺の前の瀬田川沿いで開催。百足団子800人分を配ったり、百足太鼓を披露。
瀬田自治会で、同日に「百足祭り」を始めた為、同時開催の折り合いがつかず止めた
フリーマーケットや江州音頭の踊りもやっていたが競合

＜裏面も活用ください＞

【調査方法添付資料5】調査票事例（裏面の記載事例）

調査者（ 大河原秀康 ）/整理番号（ 01 ）

碑銘もしくは呼称（ 百足供養堂 ）
雲住寺地図 百足供養堂



百足供養堂と虫塚の全景

